岩手山

○概況

火山活動は比較的穏やかに経過しました。
黒倉山山頂の噴気の状態には大きな変化はみられませんでした。

地震活動の状況

火山性地震の月合計回数は 58 回で、先月（22 回）より地震回数は多くなりました。

・東岩手山（山頂付近）では、やや深いところ（深さ 10km 前後）を震源とする低周波地震が５日に一時的にまとまって発生しましたが、浅いところを震源とする地震活動は穏やかに経過しました。

・西岩手山（大地獄火口～姥倉山）では引き続き火山性地震が発生していますが、いずれも小さな規模の地震でした。

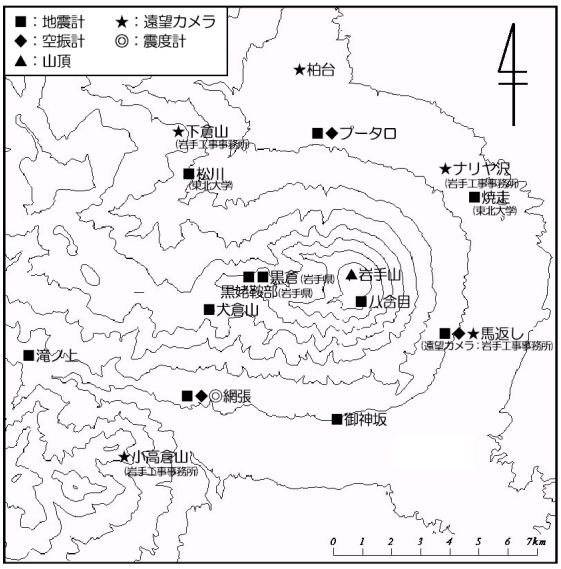
・岩手山西側では滝ノ上付近で引き続き地震が発生しています。

火山性微動は５日に３回観測されましたが、いずれも東岩手山のやや深いところで発生したとみられます（継続時間１分 21 秒、３分 53 秒、１分 43 秒）。浅いところを震源とする地震活動、噴気活動の状況に変化はみられませんでした。

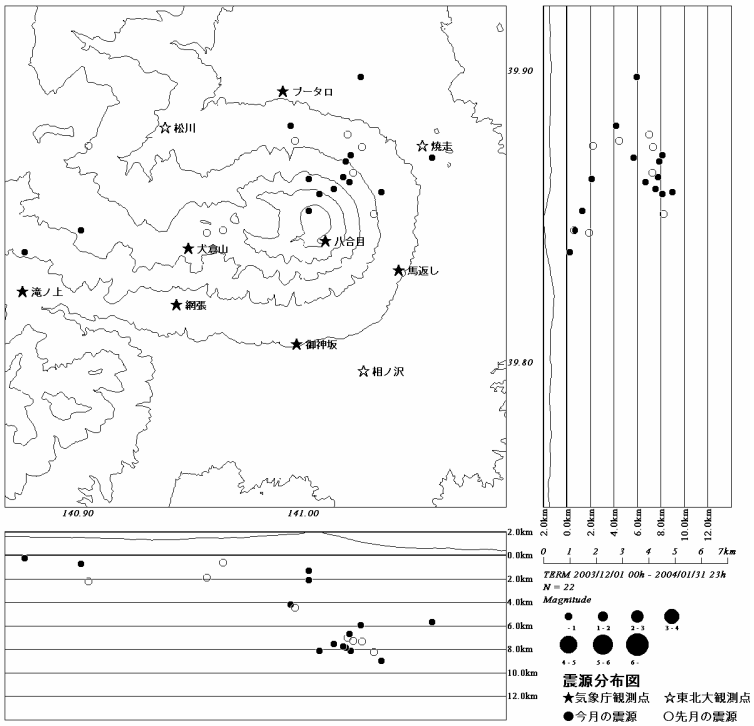
モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源とみられる低周波地震は観測されませんでした（先月３回）。

噴気活動等の状況

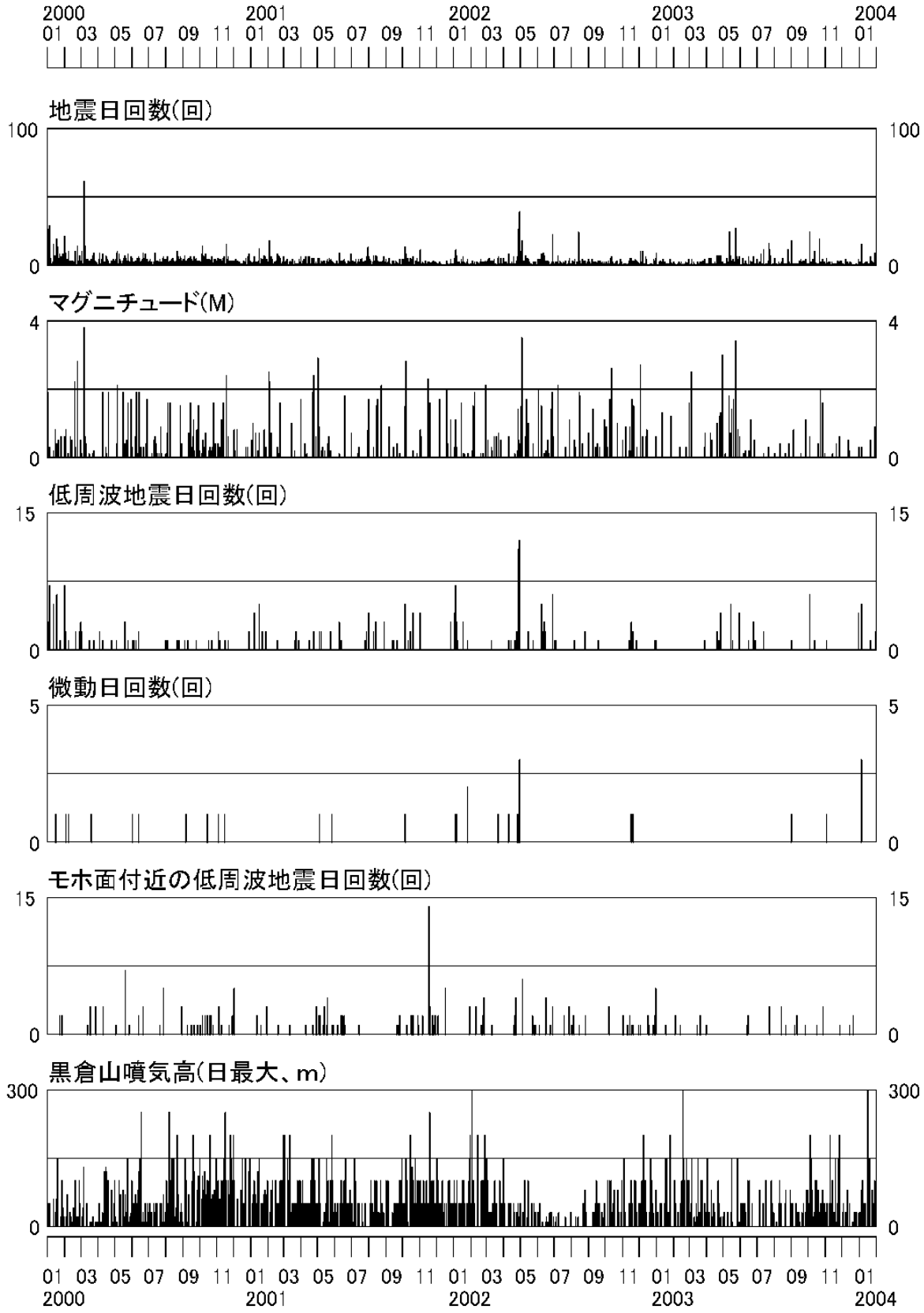
遠望観測（監視カメラ）では、黒倉山山頂の噴気の高さは 17 日に一時 300ｍを観測しました。また、大地獄火口内の噴気が 20 日に一時屏風尾根上 150ｍの高さが観測されましたが、これらは気象条件によるものと考えられます。



岩手山火山観測点配置図



岩手震源分布図(2003.12.1～2004.1.31)

岩手山　活動一覧

2000/01/01～2004/01/31